



栗本医師(右)と澤田看護師
6A 病棟ティールームに多職種が集合し参加しました



■ 2021. 11. 30

先月、常滑市民病院と脳神経外科領域の合同症例カンファレンスがWebシステムを活用して実施されました。企画運営の中心メンバーは両病院に在籍している脳卒中看護認定看護師の澤田周志さんと山本憂一さんです。常滑の山本さんは以前人事交流で当院の脳神経外科病棟に 11 か月間勤務していただいた経緯があり、当院スタッフと充分信頼関係構築できています。

合同症例カンファレンスは、当院から常滑市民病院へ転院された入院患者さんを対象に多職種間で支援の内容・経過報告や振り返りをして情報共有をし、今後活かしていくことが目的です。当院は当該病棟の他、リハビリテーション室や集中治療室・脳神経内科患者さん担当の病棟も Web 参加していました。

脳神経外科統括部長栗本医師から術前の MRI や血管造影の画像を用いた説明から、現在位に至るまでの内容が随時報告され、患者さんの回復改善状況にちょっと驚きました。何よりも Web を使って両病院の多職種合同カンファレンスが今後継続していき、職員間で切磋琢磨できる環境が構築継続でき、患者さんに還元できればいいなあと感じました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。